

地震被害宮城からエール

八戸

昨年12月に発生した青森県東方沖地震で、震度6強を観測した八戸市への支援として、日本旅行東北（仙台市、酒井克巳社長）は6日、寄付金2万5530円を送った。同社が今年3月、仙台で企画した防災イベントで、参加した宮城県内の高校生らから寄せられた善意を充てた。

同社は数年前から、持続可能な開発目標（SDGs）や防災をテーマとした高校生対象のイベントを定期的に企画。高校生自身が実行委員会となり、同社が事務局としてサポートしている。地震発生の直後に行われたイベント会議で、八戸を支援しようという声が上がったことから、協力の呼びかけを決定した。今回は、不要となった書籍やDVDを持ち寄り買い取ってもらって、中古品店ブックオフの支

日本旅行東北企画 防災イベント 高校生ら支援、市に寄付金



メッセージ動画でエールを送る大橋美咲さん

援サービス「キモチと。」を活用。参加した高校生ら約40人が協力し、寄付金に替えた。この日は日本旅行東北の櫻井寛也・営業統括部担当部長、松台市立仙台高3年の大橋美咲さん

んによる「大切な命を守るため、防災意識を高めよう」とのメッセージ動画も紹介された。八戸での勤務経験もある櫻井部長は「皆さんが八戸に目を向けてくれ、個人的にも大変ありがたかった」と述べ、熊谷市長も「同じ東北人として気持ちを一つにしたい」と感謝した。

（井上周平）



熊谷雄一市長（中央）に目録を送った櫻井寛也部長（右）と松本弘部長